

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立木川小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・本年度の学校の自己評価結果は妥当である。
- ・近年、安定した学校運営がなされていると認識している。
- ・さらなる学校力の向上に、地域・保護者も連携していく。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

- ・達成状況の評価に対しては妥当である。
- ・SSR の設置など、不登校児童に対する選択肢が増えたのは良いことである。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 66.5%以上にする。

- ・達成状況の評価に対しては妥当である。
- ・学力については、総じて上昇傾向にある。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 100%にする。
- 保護者アンケートにおける「学校は学習参観 や学校行事などの教育活動を公開 したり、学校だよりや学年だよりホームページなどで情報発信に努めたりしていると思いますか。」および「学校は、家庭・地域と連携していると思いますか。」に対して肯定的な回答の割合をともに 90%以上を保持する。

- ・達成状況の評価に対しては妥当である。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・3 校統合に向けての取り組みを進めてもらいたい。